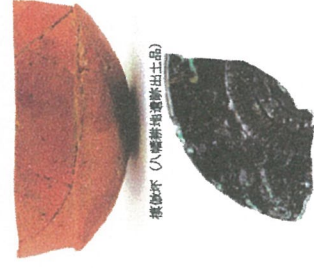
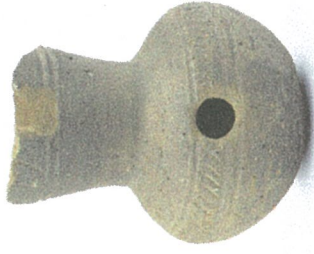


# 川田谷古墳群を支えた古墳時代のくらし



钵状杯 (八幡耕地遺跡出土品)

鉄文鏡 (八幡耕地遺跡出土品)



須臾器はそう (八幡耕地遺跡出土品)

桶川市は、原始古代の遺跡の宝庫として知られ、とくに、川田谷地区には、6～7世紀の古墳群である川田谷古墳群が所在しており、荒川流域左岸の古墳時代後期の古墳群を物語る上で拠点となる地域と考えられています。

この古墳群を支えた集落跡のひとつである八幡耕地遺跡から発見された資料を紹介するとともに、古墳群を支えた人びとのくらしについて考えます。

## 〔展示期間〕

平成30年11月17日（土）から平成30年12月23日（日・祝）  
午前9時から午後4時30分 入館無料

### 関連講座

展示解説講座

『八幡耕地遺跡にみる古墳時代後期の暮らし』  
講師：桶川市歴史民俗資料館 館長 関根 訪  
平成30年11月23日（金・祝） 午後2時開講

特別文化財講座

『群集墳と集落の展開について』  
講師：（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団職員 青木 弘 氏  
平成30年12月16日（日） 午後2時開講

〔問い合わせ〕

桶川市歴史民俗資料館  
〒363-0027 桶川市川田谷4405-4 川田谷生涯学習センター内  
電話 048-786-4030

